



えんじゅ

春日市立春日小学校
校長室便り No.5
令和2年7月6日
文責：校長 福島

学習に集中できますように！



明日は七夕。校内のあちこちに子供たちの願いに飾られた笹が置かれています。

私の願いは「かすがっ子 654 人が個性を大切にしながら自信をもって伸びていきますように」ということで、本年度の重点目標を「多様性の理解と自尊感情の高揚」としています。

私は、昨年度からやりたいなと思っていたことの一つに、「教室をすっきりさせる」ことがありました。子供たちの感覚は多様です。音に敏感な子供、皮膚の感覚が繊細な子供、視覚情報のキャッチに優れている子供等、40 人いれば 40 通りの多様性があります。このような優れた感覚は長所である一方、学習に集中するということを考えた時、刺激が多く入りすぎて集中しにくいことにつながる場合もあります。

授業の多くは、子供たちは前を向いています。教師の言葉と黒板を使った板書によって授業は進められることが多いです。教室前面の視覚情報を制限し、黒板に意識が集中できるように左右の棚にカーテンを作りました。

昨年度末に PTA 会長であった平塚さんに相談したところ、快く引き受け PTA 有志により全教室分作り、先週金曜日に取り付けてくださりました。ありがとうございました。教室前面がとてもすっきりとしました。

棚だけでなく、前面には目指す子供像以外の掲示はしないことや、刺激的な色を使わないことも統一しています。

今回のことや清掃・消毒サポーター等等「子供たちのために、こんなことできたらいいな」という願いを持ったら、ドラえもんや星がいなくてもかなえてくれるコミュニティ・スクール春日小、ありがたいなと七夕を前にしてしみじみと感じています。